

英 語

解答は、枠内にのみ記すこと。

枠外や、裏面に書いても、採点の対象にはならない。

平成24年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学 専攻

試験科目	英語
------	----

(6枚中 その1)

平成23年9月26日

9時00分～10時30分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学 専攻

試験科目	英語
------	----

(6枚中 その1)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

I. 英文を読んで、問いに答えなさい。

[出典: Shaffer, D. R., & Kipp, K. (2007). *Developmental psychology: Childhood and adolescence*. 7th ed. Belmont, Wadsworth/Thomson. pp. 605-607. ただし、本文の一部を省略している。]

問1. 以下の英文を、200字程度の日本語に要約しなさい。

平成24年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(6枚中 その3)

平成23年9月26日

9時00分～10時30分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(6枚中 その3)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

問2. 以下の英文を、300字以内の日本語に要約しなさい。

平成24年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(6枚中 その4)

平成23年9月26日

9時00分～10時30分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(6枚中 その4)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

--

平成24年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(6枚中 その6)

平成23年9月26日

9時00分～1.0時30分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(6枚中 その6)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

II. 以下の日本語を、100words以内の英文にしてください。

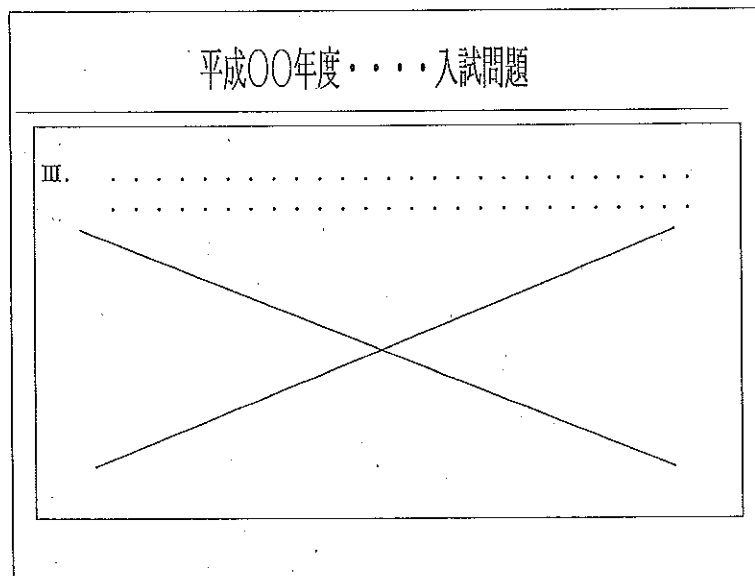
ある人は、心理社会的な要因のために、うつ病のリスクを持っているかもしれない。性格特性・認知スタイル・ソーシャルサポート・ストレッサーへの対処能力などの心理社会的要因は、生物学的な素因と相互作用する。恐れや不安、罪責感、悲しみや怒りといった感情を用いることで、否定的な出来事に敏感であったり過剰に反応したりする人は、感情障害のリスクがある。うつ病は、その人が世界を否定的に知覚している結果であって、そのような見方が抑うつ気分を導いているのかもしれない。加えて、ストレスフルなライフイベントは、抑うつと強く関連することが、多くの研究によって示されている。

IIの解答欄

--

以下の文をよく読んでから
解答に着手すること

1. 問題は I ～ V までの 5 問である。
2. 心理社会行動科学講座（高度専門職業人養成コースの場合は、心理行動科学分野）を受験する者は、I・II・IIIの3問と、IVもしくはVのうちいずれか1問を選択し、合計4問を解答すること。
3. 精神発達臨床科学講座（高度専門職業人養成コースの場合は、心理臨床科学分野）を受験する者は、IV・Vの2問と、I・II・IIIのうちから2問を選択し、合計4問を解答すること。
4. 選択しなかった問題については、下の例のように、大きく×印をつけること。



5. 5問すべての問題に解答したり、選択しなかった問題が不明確な場合は、すべての解答を無効とするので、十分注意すること。
6. 解答は、枠内にのみ記すこと。枠外や、裏面に書いても、採点の対象にはならない。
7. 解答は、指定がない場合は、必ず日本語で記すこと。

平成24年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(7 枚中 その 1) 平成23年9月26日 11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(7 枚中 その 1)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

I. 動機づけに関するDweckの達成目標の理論とRyan & Deciの自己決定理論について次の問いに答えなさい。

問1 Dweckの達成目標の理論について説明しなさい。

問2 Ryan & Deciの自己決定理論について説明しなさい。

平成24年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(7 枚中 その 2)

平成23年9月26日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(7 枚中 その 2)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

問3 両理論の類似点について述べなさい。

平成24年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(7 枚中 その 3)

平成23年9月26日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(7 枚中 その 3)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

II. 他者が存在することにより、個人の行動は、必然的に、その影響を受ける場合が多い。
以下の3つの状況における他者の影響について説明しなさい。

問1 課題遂行状況で共行動者が存在すると、社会的促進や社会的手抜きといった現象が起きるが、そのメカニズムについて具体的な例を用いて説明しなさい。

問2 緊急に援助が必要な状況では、存在する他者の人数が多いほど、援助行動は抑制される現象が知られているが、そのメカニズムについて具体的な例を用いて説明しなさい。

平成24年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(7 枚中 その 4)

平成23年9月26日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(7 枚中 その 4)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

問3 有名なMilgramら(1969)の繁華街路上実験では、通行人を装ったサクラが特定の観察区域で立ち止まったり、通りを隔てたビルの6階の窓を見上げたりすると、他者(サクラ)の人数が多くなるほど、一般の通行人が同様な行動を生起する確率が高くなる。この現象を、社会心理学的な観点で説明しなさい。また、日常生活での具体例を挙げなさい。

平成24年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(7 枚中 その 5)

平成23年9月26日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

試験科目	心理発達科学
------	--------

(7 枚中 その 5)

心理発達科学専攻

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

Ⅲ. 次の2つの問いに答えなさい。

問1 数ヶ月にわたるある心理的支援プログラムについて、その効果を量的に検証する研究を行うとします。その研究方法を考え、支援対象、変数、統計手法、結果の解釈の仕方などについて、具体的に説明しなさい。

問2 測定の信頼性に関する以下の各項について、わかりやすく説明しなさい。

(1) 信頼性係数の定義

(2) 再検査信頼性係数は、どのような側面から捉えた信頼性か

(3) α 係数は、どのような側面から捉えた信頼性か

平成24年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(7 枚中 その 6)

平成23年9月26日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(7 枚中 その 6)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

IV. 思春期の学校移行と心理的適応の関連について、J.S.Ecclesらの提唱した「発達段階-環境適合 (stage-environment fit)」の観点を取り入れながら論じなさい。

平成24年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(7 枚中 その 7)

平成23年9月26日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

試験科目	心理発達科学
------	--------

(7 枚中 その 7)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

V. 次の事例を読んで、以下の問いに答えなさい。

事例 A男（来談時10歳1ヶ月 小学校4年生） 男児

主訴 友人がいない、ときどきいじめられる。

字をきれいに書くことにこだわりがあり、板書についていけない。

学校の勉強についていけない。

来談までの経過

幼稚園の頃より一人遊びが多く、小学校入学後も仲の良い友だちができない。放課中も教室で一人本を読んでいることが多い。3歳頃から些細なことにこだわりが強く、文字も思い通りに書けないと消しては書き直しているため授業の板書についていけない。運動は苦手でボール投げが上手くできない。4年生に進級後、ノートに本人が知らない間に落書きされることがあり、服にチョークの粉をつけて帰宅することもある。本人に聞いても何も言わないが、いじめられているのではないかと心配になった母親が相談室に本児を連れて来談。テストは文字を書くことにこだわるために時間が足りず、点数が悪く成績も下の方である。A男自身は、母親によると勉強ができないし、友だちもいないことを気にしている様子で、4年生に進級後はときどき登校を嫌がることもあるという。

問 本事例を臨床心理学的に見立てるために必要と思われる方法についてできるだけ多く挙げ、詳細に述べなさい。

平成24年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	スポーツ行動科学
------	----------

(7 枚中 その 3)

平成23年9月26日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	スポーツ行動科学
------	----------

(7 枚中 その 3)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

出典：日本スポーツ心理学会（2008）スポーツ心理学事典、大修館書店、p.275

図3 ()

(20字×11行)

平成24年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	スポーツ行動科学
------	----------

(7 枚中 その 4)

平成23年9月26日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	スポーツ行動科学
------	----------

(7 枚中 その 4)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

- (2) 周期的な両手協応動作の自己組織化について、以下のキーワードを用いて説明しなさい。
キーワード：相転移、アトラクタ、秩序変数、制御変数

平成24年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	スポーツ行動科学
------	----------

(7枚中 その5)

平成23年9月26日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	スポーツ行動科学
------	----------

(7枚中 その5)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

- (3) 運動制御における開回路制御と閉回路制御について、以下のキーワードを用いて説明しなさい。
キーワード：運動プログラム、フィードバック

平成24年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	スポーツ行動科学
------	----------

(7 枚中 その 6)

平成23年9月26日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	スポーツ行動科学
------	----------

(7 枚中 その 6)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

(4) スポーツ選手のソーシャル・サポートについて、以下の3つの事柄を述べなさい。

1) ソーシャル・サポートの定義

2) スポーツ選手におけるソーシャル・サポートの種類と個々の例

3) ソーシャル・サポートがスポーツ選手のストレスを緩和するメカニズム

平成24年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	スポーツ行動科学
------	----------

(7 枚中 その 7)

平成23年9月26日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	スポーツ行動科学
------	----------

(7 枚中 その 7)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

- (5) スポーツメンタルトレーニングとスポーツカウンセリングについて、両者のねらいと援助方法の違いを述べなさい。
また、競技不安を訴える選手に対して、両者がどのような援助を行うか具体的に述べなさい。

	スポーツメンタルトレーニング	スポーツカウンセリング
ねらい		
援助方法		
競技不安を訴える選手への具体的な援助方法		